

# とっまよう 自治体の仲間

2011.3.21  
VOL.250

発行所  
東京自治体労働組合総連合  
〒170-0005  
豊島区南大塚2-33-10東京労働会館4階  
TEL 03-5940-7951 FAX 03-5940-7957  
発行人 荻原 淳  
定価1部10円  
(ただし組合員の購読料は組合費に含まれています。-1人に1部配布)  
本紙は再生紙(古紙75%以上)を使用しています

http://www.tokyo-jichiroren.org/ E-mail honbu@tokyo-jichiroren.org

## 東京自治労連結成20周年 記念レセプションひらく



3月3日18時30分から、御茶ノ水にある全労連会館ホールにおいて、東京自治労連の結成20周年を祝う記念レセプションが行われました。

労働者トランペッターの松平晃さんの「早春賦」春よこい」「この勝利響けとどろけ」などのトランペッター吹奏によるメドレーが鳴り響き、レセプションが開会されました。

1989年3月、全国の自治体・公務員労働者の団結の母体として自治労連が結成され、その2年後1991年3月4日、東京における全労連・自治労連の産別運動を担う東京自治労連が結成されました。

東京自治労連は結成以来、都内の自治体職場や関連職場に働く仲間たちと諸先輩をはじめ、地域の友誼諸団体との連携を大切に、協力共同の輪をひろげ、力を合わせて自治労連産別運動の東京地域における団結の要として奮闘してきました。レセプションでは、友誼労組や関連諸団体がら、多くの方々が結成20周年のお祝いに駆けつけ、祝辞と今後への期待などがそれぞれ述べられました。

【3面につづく】

## 東北地方太平洋沖地震災害で亡くなられた 方々に哀悼の意を表するとともに、被災された みなさんに心からお見舞い申し上げます

日本における観測史上最大といわれる、3月11日14時46分に発生した巨大地震による被害は、広域にわたると同時に、自治体や行政機関も災害に巻き込まれており、いまだ被害の規模などの詳細は不明ですが、想像にあまりな未曾有の規模となっております。

島根沖や茨城県沖に及ぶ大規模な地震が引き起こされたこと、大津波が発生したこと、原子炉を覆う建屋が次々と吹き飛ばすなど、極めて深刻な原発事故も発生しており、広範な地域への放射能汚染の危険性など、2次被害が懸念されています。しかも、まだ厳しい寒さが続き、被災地や避難所の多くは、極めて悪条件のなかで、一刻も早い救援が求められています。

### 東北地方太平洋沖地震に対する今後の 救援の取り組みと「東日本大震災救援 募金」のおねがい

犠牲になった方々に対し、謹んで哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に、心からのお見舞いを申し上げます。

自治労連本部は、東北地方太平洋沖地震災害に対しまして、3月11日、災害対策本部を設置し、今後の支援体制や、義捐金の取り組み等、迅速な状況に応じた取り組みを行なうことになっていきます。集約された義捐金は、自治労連を通して被災地へ送ることになります。職場での積極的な取り組みをお願いします。

東北地方太平洋沖地震は、震源が浅く陸地に近いところでも発生した事や、福島

また、東京電力福島第一

## 退職されるみなさん 住民本位の自治体行政実現で のご奮闘お疲れさまでした

東京自治労連中央執行委員長 荻原 淳

退職される組合員のみなさん。自治体に働く労働者として、住民のくらしと権利擁護のために永年奮闘され大変お疲れさまでした。また、労働組合の活動に積極的に加わり、賃金・労働条件や職場要求の前進に貢献され、心から感謝申し上げます。

今年退職されるみなさんには、早い方で1969年4月1日採用の方もいます。美濃部革新都政を第一期から支え、「憲法をくらしに生かす都政」、「東京に再び青空を取り戻そう」など、都民とともに多くの革新的な政策を進めてきました。東京に生まれた多くの革新・民主自治体を支え、区市町村を民主的に発展させ、住民のくらしと中小企業・業者の営業を守るために大いに力を尽くされました。

70年代には、賃金や労働条件など大幅な改善を勝ち取り、要求を大きく前進させました。石原都政のもとで、厳しい攻撃の中でも、切実な要求を掲げ闘ってまいりました。反核・平和の闘いでは、ベトナム侵略戦争反対、沖縄返還闘争、70年安保闘争などで奮闘されました。みなさんが進めた運動は、若い世代に引き継がれ、昨年5月、多くの青年組合員が参加したニューヨークの「NPT再検討会議行動」など、核兵器廃絶をめざす世界的な運動として発展してまいりました。

健康に留意されご活躍を

退職されるみなさんは、再任用などで引き続き自治体職場で働く方、地域でがんばる方など、さまざまなお道へ進まれます。健康に充分留意され、これからも活躍されることを願います。そして、住民本位の自治体づくり、自治労連運動の前進のために、今後ともご指導、ご支援をお願い致します。長い間お疲れさまでした。



（三）

地震速報  
「30秒後に大きな地震が発生します」と鳴り出し、

野風俗  
「……5、4、3、2、1」とカウントダウン。直後に大きな揺れ。はじめて経験した大きな地震だった。怯えて利用者の幼児が泣いたが、幸い利用者の怪我も施設の破損などはなかった。電車が止まったため、幹線道路の歩道をおびただしい人びとが歩いていった。ヘルメットを首に掛けて歩いている人も。自宅に帰れず休憩所で一夜を明かした人もおおい。帰宅難民なることも生まれた。一方、東北の太平洋沿岸の状況は押し流される自動車や家屋、その後のおびただしい瓦礫。まるで戦争の後のようだった。津波の破壊力は衝撃的だった。昼夜を問わず続く余震には驚かされ落ち着かない。中越地震や阪神淡路大震災の被災者の気持ちがほんの少し分かった。私たちが援助の手を差し伸べよう。地震列島上の原発の危険性も改めて認識させられた。福島の人にとっては、地震の上に原発の事故で本当に気の毒だ。テレビや新聞で繰り返される「安全神話」が完全に崩壊した。便利でもクリーンでも命には代えられない。アメリカのスリーマイル島の事故を上回りの、旧ソ連のチェルノブイリに次ぐ事故だという。原子力発電の是非が改めて問われている。

# 力を合わせて革新都政の確立と革新自治体の建設を

## 石原「構造改革」都政を転換し福祉都市東京を実現しよう

東京自治労連書記長 森田 稔

東北地方太平洋沖地震が国に悪政を発信してきた石原都政を転換するために取組を進めてきました。2010年11月3日に開催した「2011年都知事選挙闘争基本方針」(2010年12月6日)、「都知事選挙闘争基本方針」(2010年5月29日)、「東京都知事選挙に臨む体制と財政の確立について」(2010年12月6日)、「都知事選挙についての当面の方針」(2011年1月22日)を定めてきました。これらの方針の具体化として、従来の日程より5カ月後倒して、第8回東京地方自治研究会を「都知事選挙勝利に向けて取り組む」(以下「会」)は都知事選挙の候補者として、日本共産党の小池あきらを擁立することを決定し、2月9日正式な立候補表明がなされました。



一方、「革新都政をつくる会」(以下「会」)は都知事選挙の候補者として、選挙基準について高く評価されています。「会」が擁立を決定した小池あきら氏についても、現局面において選挙基準に合致する候補者でありました。

### 小池あきら氏を「支持」決定し、都知事選挙勝利に向けて取り組む

### 市長会、町村会への春闘要求交渉を実施

東京自治労連「2011年国民春闘における要求書」を提出

と判断します。その上で、都知事選挙候補者擁立に関する長年の経過とスタンスを踏まえて、単組、組合員との団結を向よりも最優先させるため、小池あきら氏について、「推薦」ではなく「支持」決定すること、都知事選挙勝利に向けて取り組むこととしました。具体的には、単組、支部、分会及び各級機関などが、可能な限り「推薦」決定をはかるとともに、

「会」の政策を広く組合員及び都民に知らせるとともに、「会」の提起する行動などについて周知徹底し、取り組みの成功に向けて奮闘する。

「会」の構成団体として必要な対応を行うとともに、「革新都政を実現する会」が提起する行動に参加した場合は犠牲者救済の対象とする。

その他の具体的な対応については、中央執行委員会と協議し、判断していくことを決め、都知事選挙勝利に向けて、取り組むこととしました。



2. 18都知事選挙勝利決起集会

### 石原都知事の「天罰」発言に都民から抗議が殺到

東日本を襲った大震災で、多くの罹災者がかけがえない家族や縁者を始め、すべてを失い、余りの惨状に呆然と立尽くす中、驚くべき事に石原都知事は、3月14日の記者会見において、この震災を「天罰」と発言し、都庁に都民から抗議の電話が殺到しました。目に余る暴言内容に、被災者への配慮に欠ける、として指摘を受けた際も、発言の撤回や、謝罪を拒みました。ようやく翌日15日になって、発言の撤回と謝罪はしたもの、政治家としての人格を疑うとともに、人間的な基本的資質の欠如を疑うものです。撤回したとは言え、度重なる異常な暴言を、これ以上許す事は出来ません。



市長会・町村会へ要求書手交

東京自治労連は3月4日午前10時より、府中市にある東京自治労連の「2011年国民春闘における要求書」を提出し、市長会と町村会への要請行動を実施しました。

東京自治労連からは、国立市職、多摩市職をはじめ、西野副中央執行委員長等4人で要請を行い、市長会からは根橋東京都市長会事務局・調査課長、町村会からは伊藤総務課長など2名が対応しました。

はじめに東京自治労連から西野副中央執行委員長より、昨今の自治体労働者をめぐる状況や、国政の問題



『2011年度 東京都の予算分析』を発行しました。これは、都政の現状と問題を分析するパンフレットを、題点を財政面から浮き彫りにして、発行しました。

### 『2011年度 東京都の予算分析』を發行 今後の都政を問う資料として積極的な活用を

東京自治労連はこのほど、都の2011年度予算を分析するパンフレットを、題点を財政面から浮き彫りにして、発行しました。

このほか、パンフレット

「2011年度 東京都の予算分析」は、都政の現状と問題を分析するパンフレットを、題点を財政面から浮き彫りにして、発行しました。

また、石原都政の3期を批判・検証する資料を掲載し、目前に迫った都知事選挙で「住民本位の都政」へ変革するために役立つ内容になっています。

予算分析では、都財政は1兆円を超える溜め込みの一方で、都民の暮らしに冷たい予算であると指摘。都民のために使える財源が十分にあり、都民生活を守る立場の都政が立てば施策を行う力は十分にあることを明らかにしています。

このほか、パンフレット

「2011年度 東京都の予算分析」は、都政の現状と問題を分析するパンフレットを、題点を財政面から浮き彫りにして、発行しました。

また、石原都政の3期を批判・検証する資料を掲載し、目前に迫った都知事選挙で「住民本位の都政」へ変革するために役立つ内容になっています。

予算分析では、都財政は1兆円を超える溜め込みの一方で、都民の暮らしに冷たい予算であると指摘。都民のために使える財源が十分にあり、都民生活を守る立場の都政が立てば施策を行う力は十分にあることを明らかにしています。

このほか、パンフレット

### ご案内

## 組合員の法律相談

相談は顧問弁護士が行い、秘密は厳守します。東京自治労連の組合員は、どなたでも無料で相談できます。必ず電話で申し込んでください。

**日時** 4月21日(木) 13時～17時

**場所** 代々木法律事務所

**申込先** 東京自治労連・企画財政部

TEL 03-5940-7951

※場所は毎回変わります。申し込みのあった方に、地図などの詳細をお知らせします。

て説明し、とりわけ政府の人事院勧告制度を無視した道徳のない不当な賃金引き下げを行わないよう国に求めることや、地域手当の現行水準を確保、さらに市町村総合交付金「経営努力割」を廃止し市町村への賃金を引き上げました。要請では、金・労働条件切り下げの強要を行わないよう申し入れることなど、強く要請を行いました。

と、意見を全国の市長会・町村会を通してあげることなどについて回答しました。また、子ども手当についても意見をあげたことについて回答し、町表明しました。

最後に西野副委員長から、「みなさんの努力のおかげで、1月に「地域主権改革」について都から請行動を終了しました。

「2011年国民春闘における要求書」の趣旨について、今後、都政の在り方では「切り捨てられた保健を考慮する基礎となる資料を掲載しています。

また、石原都政の3期を批判・検証する資料を掲載し、「過剰な建設投資を進める東京港」といったタイトルで、消費者行政、農林水産業、中小企業対策などの分野別に、予算の現状と施策の問題点を分析しています。

都知事選挙に合うよう、昨年より1カ月早く発行したもので、職場や地域での積極的な活用をお願いします。

A4判62ページ、頒価600円。問い合わせ先 東京自治労連政策保障部

### 核兵器の全面禁止と非核平和の日本を

#### 3・1ピキニデー 新しい国際署名の運動を提起

2月28日から3月1日に、労働、世田谷区職労、目黒区、平洋上のマリーシャル諸島にかけて、静岡市内や焼津市、職労、豊島区職労、自治労、キニ環礁において、アメリカを会場、反核平和運動の連東水労などから9人が参加した。反核平和運動の原点となった「3・1ピキニデー」が開催されました。

東京自治労連は、西野副委員長をはじめ江東区職、いまから57年前、中部太



新しい署名運動が提起された3・1ピキニデー

核廃絶への歴史的な第一歩を現実にするために、極めて強い放射能を帯びた非常に危険な「死の灰」が、危険指定区域を越えて降りそそぎ、日本から遠く離れたマクローランで行っていた第五福竜丸をはじめ、多くの日本のマクローラン等に甚大な放射能汚染被害を与えました。

日本では、この事件を期に怒りの抗議の声が湧き起こり、歴史的な世界ではじめて原水爆禁止運動が始まりました。

「核兵器のない世界」実現のために、3・1ピキニデーを原点とする核兵器廃絶の運動を提起しました。

今年4月の都知事選挙や一斉地方選挙など、地域からあらたな歴史を切り開いていく年でもありません。職場の仲間とともに、地域の人たちとともに、力を合わせて、核兵器廃絶に向けた、歴史的な転機を作り出していきたいと思います。



### 東京自治労連スト権批准投票 昨年を上回る高率批准で闘う態勢を確立

組合役員、職場のみならずの奮闘により、高率批准で闘う態勢が確立しました。

労働者の総団結で大幅賃上げ・内需拡大で景気回復を

3月7日の拡大執行委員会で当面する大きな闘いのひとつとして、公務員賃金の賃上げ見直しの深堀問題など、人事院勧告を上回る賃下げ攻撃等、かつてない公務員賃金に対する策動が画策され、官民問わず厳しい攻勢がかけられてきており、力をあわせて取り組む必要があります。

2011国民春闘で、デイトワークを求め、イニセントワークをなくし、ワーキングプアをなくし、大企業や一部富裕層だけの利益の独り占めの社会を改革する上でも、諸要求実現の課題とともに、みんなで力を合わせて共に奮闘しましょう。

### 東京自治労連結成20周年記念レセプション 日本を首都東京から変えよう 全国から大きな期待と連帯の声

記念レセプションの冒頭、荻原東京自治労連中央執行委員長が、結成20周年にあたって、これまでの東京自治労連に対するご支援に、感謝のあいさつを行いました。

あいさつでは、20周年目の節目を迎えることが出来た事への感謝と、東京における自治体労働運動の闘う伝統を受け継ぎ、発展させ、組合員の権利を守り、地域住民の暮らしと権利を擁護し、自治体労働者論の立場に立って住民が主人公の主体的自治体建設や公務員サービスの真の拡充など自治体・公務員公共の運動の新たな前進のために奮闘して

いこうと、20年にわたる自治体労働運動の積極的な成果を受け継ぎ、新たな峰を目指し運動を進めていくことを述べました。

そして、これまでの運動の成果と、明日の東京自治労連運動を展望する「20年史」を編纂するために膨大な資料を整理し、編集作業に尽力された方々に感謝するとともに、駆けつけていただいた皆さんに今後のご支援・ご指導をお願いをし、自治体労働者論の立場に立って住民が主人公の主体的自治体建設や公務員サービスの真の拡充など自治体・公務員公共の運動の新たな前進のために奮闘して

自治労連本部野村委員長らが祝辞

あいつつの中で、20年間を振り返るに当たり、要求、団結、運動の3つの視点等について触れ、この間、東

京自治労連、東京公務員一般労組のたたいが、全国の仲間を大きく励ましたこと、団結の母体としての自治労連運動を、この東京において実践されてきたこと、自治体労働者論を、正規の方も、非正規の方も一体となって進めていることを評価しました。

また、協力のお願いが、東京の運動を構築してきたとして、かつて文部省の教育基本法改悪のときの、都教組との共同した闘いなど、思い出とともに、日々、苦しい中でも闘いが継続して行なわれてきたことが大きな力になっており、あらゆる先輩や、職場の組合員のみならず、それぞれの民主団体に対する感謝の言葉を、に、首都東京から日本を変えていこうと激励し、結成20周年のお祝いの言葉として触れ、この間、東

### 仕事の悩みを愚痴で終わらせない組合活動を

#### 東京自治労連青年部が第8回定期大会

##### 運動方針、新役員体制等を満場一致で採択

東京自治労連青年部は2月18日夜、豊島区のラパスホールで第8回定期大会を開催。各単組から42人が参加しました。

職労の代議員からは新規採用職員の適正配置を求める意見のほか、保育の新スームの問題点について現場から声を上げることが重要であること、養育院支部代議員からは石原都政のもとで職員と都民が苦しめられる現状を変えるために、等、公共一般江東支部から革新都政を実現する必要があること、板橋区職労から「スノボツアー」や新人歓迎会等、世田谷区職労からNPTや自治体労働講座

の活動報告もありました。討論のまとめでは、石坂書記長が「仕事の悩みは、友人同士で話すことだの愚痴だけだと、組合はそれでは終わらない」と組合活動の意義を紹介しました。

最後に、2011年度役員体制、運動方針等を満場一致で採択し、新役員をそれぞれから思いのこもった挨拶があり、第8回定期大会を終了しました。

#### 2011年度 新役員体制

部長	鳥海 哲 (墨田区職労)
副部長	松山 友幸 (豊島区職労)
副部長	山本 真 (東京公務公共一般)
書記長	石坂 晋子 (江東区職労)
常任委員	鈴木 大智 (東京介護労)

